

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小倉拘置支所宿舎	階数	地上10F
建設地	福岡県北九州市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	180 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2015年11月26日
敷地面積	3,857 m <sup>2</sup>	作成者	勝山, 杉田, 杉友
建築面積	560 m <sup>2</sup>	確認日	2015年12月1日
延床面積	3,599 m <sup>2</sup>	確認者	元松

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 94%  
③上記+②以外の 94%  
④上記+ 94%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
職員宿舎として、質実剛健な建築を目指して設計を行った。拘置所の職員の宿舎という特殊な立地条件のため、宿舎の方のプライバシーを守るため、玄関のドアの前には視線防止のスクリーンを設置した。また、屋上には子どもを遊ばせたり、住民の憩いの場となるようにベンチや屋上緑化を計画した。	0
<b>Q1 室内環境</b> 室内に使用する材料は、すべてF☆☆☆☆を採用している。 室内の全居室について十分な換気量を確保している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 建物の屋上には住民の憩いの場の創出として屋上緑化を行った。
<b>LR1 エネルギー</b> 共用部照明にLEDを採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 共用部照明にLEDを採用している。 気象データ、卓越風を把握し設計を行っている。
<b>Q2 サービス性能</b> 天井を貼らず現しとすることで、圧迫感のない十分な高さを確保している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 内装材はリサイクル材を多用している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される